

ISSN 0287-6027

# 大谷學報

第 86 卷 第 1 号

2006年10月20日発行

暴力と真宗におけるその克服……………門脇 健 (1)

二〇〇六年度 春季公開講演会 講演録

現代日本の漢字規格……………阿辻哲次 (18)

二〇〇五年度

修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧…………… (41)

彙 報…………… (76)

学位論文審査要旨…………… (45)

主体の社会的関係が

外界認知に及ぼす影響……………星津香織 (21)

——2者間の会話分析を手がかりとして——

児童養護施設が求められる新たな役割……徳岡博巳 (1)

——虐待への対応について——

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷学報 第八十五卷 第三号

十住思想と『首楞嚴三昧經』……………采翠 晃

大谷大学蔵『衆経要集金蔵論』考……………本井牧子

——卷第二の問題を中心に——

彙報

学位論文審査要旨

2入力正弦波記述関数法によるPFM——連続

時間ハイブリッドシステムの解析……………藤堂貴弘

バクテリオファージT3の

DNAパッケージング……………加藤尚子

大谷学報 第八十五卷 第四号

形式的告示と現象学的解体……………岡本敦之

——初期ハイデガーの思索にみられる

二つの問題とその克服——

彙報

二〇〇五年度 研究発表会 発表要旨

学位論文審査要旨

原始仏教の植物観……………清水洋平

——パトリ律蔵・経蔵から窺えること——

在日コリアンの社会保障制度と日本社会

……………鄭 早苗

# THE OTANI GAKUHO

( THE JOURNAL OF  
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES )

## CONTENTS

### Articles :

The new role that a child nursing home is bought  
——About correspondernce to abuse—— ..... *TOKUOKA Hiromu* ( 1 )

The influence of the subject's social relationship  
on the cognition of the external world  
——Conversation analysis between the two—— .... *HOSHIZU Kaori* ( 21 )

---

Examination Report of Theses Presented  
for the Degree of Doctor of Literature ..... ( 45 )

---

Titles of Theses Presented for MA and BA  
Degrees, 2005 Academic Year ..... ( 41 )

---

Resumes of Papers Presented at the Public Lecture  
Meeting in the Spring of 2006

A Brief Survey on Three Standards of Chinese character in Japan  
..... *ATSUJI Tetsuji* ( 18 )

### Article :

Gewalt und ihre Überwindung im Lichte des Shin Buddhismus  
..... *KADOWAKI Ken* ( 1 )

### Miscellaneous :

---

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY  
OTANI UNIVERSITY  
KYOTO, JAPAN

## 大谷学会会規程

### (設置)

第1条 大谷大学（大谷大学大学院、大谷大学短期大学部を含む。以下「本学」という。）に大谷学会（以下「本会」という。）を置く。

### (目的)

第2条 本会は、學術研究の推進と、その成果の公開を目的とする。

### (事業)

第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 季刊「大谷学報」の発行
- (2) 「大谷大学研究年報」の発行
- (3) 研究会及び公開講演会の開催
- (4) その他必要な事業

### (会員)

第4条 本会は本学のすべての教育職員及び学生をもつて会員とする。

- 2 前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認された者は、会員となることができる。

### (役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 委員
- (3) 監事

第6条 会長には大谷大学長が当たり、会務を統理する。

第7条 委員は10名とし、教授会におい

て互選する。

- 2 委員は、企画・編集・出版等の会務を掌理する。

- 3 委員の任期は、2年とする。ただし再任をさまたげない。

第8条 監事は2名とし、教授会において互選する。任期は2年とする。

- 2 監事は、本会の会計を監査する。

### (研究発表等)

第9条 会員は、本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」及び「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

### (会費)

第10条 会員の会費は、年額四〇〇〇円とする。ただし、学生会員は二〇〇〇円とする。

### (運営経費)

第11条 本会の経費は、会費をもつてこれに当てる。

- 2 本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

### (事務所管)

第12条 本会の事務は、教育研究支援部教育研究支援課の所管とする。

### (規程改正)

第13条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

付則

- 1 この規程は、一九八一年四月一日から施行する。

2 一九六二年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

附則 この規定は、一九九三年四月一日から施行する。

附則 この規定は、一九九五年四月一日から施行する。

附則 この規定は、二〇〇二年六月一日から施行する。

### 〈大谷学会委員〉

浅見直一郎 D・ヴェステル

大城 邦義 門脇 健

禿 憲仁 番場 寛

廣瀬 幸市 三宅伸一郎

山下 憲昭 采翠 晃

大谷学報第八十六巻第一号

二〇〇六(平成十八)年十月二十日発行

編集兼 草野 顕之  
発行者 大谷学会

発行所 大谷学会  
〒六〇三・八四三 京都市北区小山上総町  
大谷大学内

☎ (〇七五) 四一・一八五八  
振替 〇一四〇・七一八三九三番

印刷者 西村七兵衛